

## 国立大学法人滋賀医科大学事業報告書

### 「国立大学法人滋賀医科大学の概要」

#### 1. 目標

滋賀県は、現在、人口の増加率が日本一高い県であり、「近い将来には、高齢化率が一番低い県（一番若い県）になる」と予想されている。このように増え続ける県民に対して、福祉や安心・安全な医療を提供すること及び住民のニーズにあった医学情報提供の場を設けることは重要な課題である。

また、滋賀県は中央に琵琶湖があるために、結果として環状になっている細長い県といえる。このため地域間のコミュニケーションが比較的とりにくく、医療機関や医療情報のネットワーク構築が求められている。

滋賀医科大学としては、このような地域の特徴を考慮しつつ、独自の新しい医学・看護学の教育・研究を推進するとともに、その成果を滋賀の地から国内はもとより世界に発信し、医学・看護学の発展に貢献すること及び高度な医療を提供することによって、人々の福祉の向上に寄与することを目標とする。

これらの目標を達成するために、構成員の「競争（個性化）」と「協調（和）」を軸にして、組織運営にあたる。

また、教育・研究・医療の一層の充実と基盤強化の観点から近隣の大学との再編・統合を検討する。

#### 2. 業務

本学では、教育・研究および診療活動において以下のような重点取り組み分野を設定し、業務を遂行致しました。

##### ① 教育の領域

- ・ 7つの部門からなる医療人育成教育研究センターを設置し、入試方法、学部・大学院教育、学生支援あるいは、障害学生支援等様々な医学教育に関わる課題を総括的に議論し、より一層の医療人育成強化に取り組みました。
- ・ このような取り組みの成果を判断する指標として国家試験合格率の目標を定め、今年度は、その目標を達成するに至りました。
- ・ また、将来のメディカル・スクール化を目指し、学士編入学定員枠を増やす、あるいは看護学科において助産師過程を新設する等教育におけるニーズの多様化への対応も検討し、平成17年度より実施することを想定しております。

## ② 研究の領域

- ・ 「患者様の体の負担をできる限り軽減したい。」という命題を実現すべく本学においては、7テスラMR装置を用いた未来型低侵襲医学を推進しております。
- ・ 本テーマは、JSTプロジェクト（科学技術振興機構）、都市エリア産官学連携促進事業（文部科学省）、科学研究費補助金基盤研究（S）等産官学連携事業としても本学が注力している領域となっております。

## ③ 診療の領域

- ・ 附属病院では、特定機能病院として、以下の診療活動に取り組みました。
  - a. 高度専門的心臓血管診療
    - － 心臓血管カテーテル法を用いた冠動脈疾患治療、不整脈の最先端医療の推進
    - － 高度専門心臓血管手術（心拍動下冠動脈手術）の推進
  - b. 栄養指導、禁煙、運動、ストレスなど生活習慣病介入外来の推進
  - c. 昨今過労等により深刻な健康課題となりつつある睡眠障害に関する臨床
    - － 睡眠時無呼吸外来の新設
    - － ポリグラフを用いた睡眠検査の実施
    - － 各種市民講座の開催

## ④ 社会貢献の領域

- ・ 単科医科大学の特色を活かし、様々な社会貢献の取り組みを実施しました。
  - a. 公開講座受講料を改訂し、例年を上回る公開講座等を開講
    - － 小学校等への出前授業、小学性を対象としたサイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）事業を教育連携講座として実施
  - b. 滋賀大学・龍谷大学・滋賀県（保健医療福祉連絡協議会）と協力し、発達障害児支援や精神障害者支援などの地域貢献特別支援事業を推進
  - c. 地域医療機関との連携を密にし、臨床実習、看護実習の機会を増加させ、地域に密着した医療人育成に取り組んだ。本取り組みは「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択された。

### 3. 事務所等の所在地

滋賀県大津市瀬田月輪町

### 4. 資本金の状況

14,099,849,062 円（全額 政府出資）

### 5. 役員の状況

役員の定数は、国立大学法人法第10条により、学長1人、理事4人、監事2人。任期は国立大学法人法第15条の規定及び国立大学法人滋賀医科大学管理運営組織規定第6条の定めるところによる。

役職	氏名	就任年月日	主な経歴
学長	吉川 隆一	平成16年4月1日 ～平成17年3月31日	(前) 滋賀医科大学学長
理事	馬場 忠雄	平成16年4月1日 ～平成17年3月31日	(前) 滋賀医科大学副学長
理事	森田 陸司	平成16年4月1日 ～平成17年3月31日	(前) 滋賀医科大学副学長・ 病院長
理事	村山 典久	平成16年4月1日 ～平成17年3月31日	(前) アクセンチュア株式会社 金融グループシニアマネージャー
理事	斎藤 敏	平成16年4月1日 ～平成17年3月31日	(前) 滋賀医科大学事務局長
監事	鳥居 直隆	平成16年4月1日 ～平成18年3月31日	(前) 株式会社滋賀銀行監査役
監事 (非常勤)	奥村 隆志	平成16年4月1日 ～平成18年3月31日	かがやき監査法人代表社員

## 6. 職員の状況（平成16年5月1日の現員数）

教員	287人
職員	603人

## 7. 学部等の構成

医学部
医学系研究科

## 8. 学生の状況（平成16年5月1日現在の在籍者数）

総学生数	1,018人	
学部学生	859人	
修士課程	27人	
博士課程	132人	
専門職学位課程	0人	等

## 9. 設立の根拠となる法律名

国立大学法人法
---------

## 10. 主務大臣

文部科学大臣
--------

## 11. 沿革

S49	02.16	滋賀医科大学創設準備室を京都大学に設置
	10.01	滋賀医科大学開学
S50	04.10	第1回医学部医学科入学宣誓式举行
	05.02	開学記念式典举行
	11.12	第1回解剖体慰霊式举行

- S51 05. 10 附属病院創設準備室設置
- S53 04. 01 医学部に附属病院を設置  
06. 28 共同研究施設を設置  
09. 30 滋賀医科大学施設竣工、医学部附属病院開院記念式典挙行  
10. 01 医学部附属病院開院・中央診療施設を設置
- S54 03. 22 附属図書館竣工、附属図書館開館記念式典挙行  
12. 12 解剖センター設置
- S55 01. 30 高エネルギー治療施設竣工  
04. 01 医学部附属動物実験施設設置
- S56 04. 14 大学院医学研究科設置  
05. 09 第1回大学院医学研究科入学宣誓式挙行
- S57 04. 01 医学部附属実験実習機器センター設置
- S60 03. 23 第1回学位授与式挙行  
12. 25 医学情報センター設置
- H元 05. 31 MR診療棟竣工  
06. 28 分子神経生物学研究センター設置
- H 2 06. 08 保健管理センター設置
- H 4 07. 20 分子神経生物学研究センター竣工
- H 6 03. 25 国際交流会館竣工  
04. 01 医学部看護学科設置  
04. 25 第1回医学部看護学科入学宣誓式挙行
- H 9 04. 01 マルチメディアセンター設置
- H10 03. 25 第1回医学部看護学科卒業式挙行  
04. 01 医学系研究科看護学専攻修士課程の設置  
04. 24 医学系研究科看護学専攻修士課程の入学宣誓式の挙行
- H11 04. 01 分子神経科学研究センター設置  
09. 30 コラボレーションセンター竣工  
12. 15 I VMR棟竣工
- H12 04. 01 運営諮問会議設置
- H14 04. 01 動物生命科学研究所センターの設置  
05. 22 MR医学総合研究センター、生活習慣病予防センターの設置  
11. 06 医療福祉教育研究所センターの設置
- H15 03. 14 動物生命科学研究所センター棟竣工  
07. 23 国際交流支援室の設置  
12. 26 NMR研究実験棟竣工
- H16 04. 01 国立大学法人滋賀医科大学設立、学外有識者会議の設置、医療人育成教育研究センター設置、情報収集分析室の設置、監査室の設置

## 12. 経営協議会・教育研究評議会

### ○ 経営協議会（国立大学法人の経営に関する重要事項を審議する機関）

氏名	現職
吉川 隆一	国立大学法人滋賀医科大学学長
馬場 忠雄	国立大学法人滋賀医科大学理事
森田 陸司	国立大学法人滋賀医科大学理事
村山 典久	国立大学法人滋賀医科大学理事
斎藤 敏	国立大学法人滋賀医科大学理事
奥 信	国立大学法人滋賀医科大学医学部附属病院副病院長
大久保 昭教	社会福祉法人近江ふるさと会理事長
高橋 宗治郎	株式会社滋賀銀行取締役会長
田中 道七	学校法人立命館総長顧問、立命館大学名誉教授
西居 咲子	滋賀県商工会議所女性会連合会会長
山田 新二	滋賀県社会福祉協議会会長
渡邊 一良	公立甲賀病院脳神経外科部長（滋賀医科大学同窓会会長）

### ○ 教育研究評議会（国立大学法人の教育研究に関する重要事項を審議する機関）

氏名	現職
吉川 隆一	国立大学法人滋賀医科大学学長
馬場 忠雄	国立大学法人滋賀医科大学理事

森田 陸司	国立大学法人滋賀医科大学理事
村山 典久	国立大学法人滋賀医科大学理事
齋藤 敏	国立大学法人滋賀医科大学理事
瀬戸 昭	国立大学法人滋賀医科大学附属図書館長
大久保 岩男	国立大学法人滋賀医科大学医学科長
大矢 紀昭	国立大学法人滋賀医科大学看護学科長
早島 理	国立大学法人滋賀医科大学医学部教授
服部 隆則	国立大学法人滋賀医科大学医学部教授
谷 徹	国立大学法人滋賀医科大学医学部教授
三ツ浪 健一	国立大学法人滋賀医科大学医学部教授
瀧川 薫	国立大学法人滋賀医科大学医学部教授
安島 民夫	国立大学法人滋賀医科大学総務部長
齋藤 晶三	国立大学法人滋賀医科大学教務部長

## 「事業の実施状況」

### I. 大学の教育研究等の質の向上

#### 1. 教育に関する実施状況

##### (1) 教育の成果に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「教育の成果に関する目標」欄の「計画の進行状況」と同一の記載内容です。

## (2) 教育内容等に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「教育内容等に関する目標」欄の「計画の進行状況」と同一の記載内容です。

## (3) 教育の実施体制等に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「教育の実施体制等に関する目標」欄の「計画の進行状況」と同一の記載内容です。

## (4) 学生への支援に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「学生への支援に関する目標」欄の「計画の進行状況」と同一の記載内容です。

## 2. 研究に関する実施状況

### (1) 研究水準及び研究の成果等に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「研究水準及び研究の成果等に関する目標」欄の「計画の進行状況」と同一の記載内容です。

### (2) 研究実施体制等の整備に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「研究実施体制等の整備に関する目標」欄の「計画の進行状況」と同一の記載内容です。

## 3. その他の目標に関する実施状況

### (1) 社会との連携、国際交流等に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「社会との連携、国際交流等に関する目標」欄の「計画の進行状況」と同一の記載内容です。

## (2) 附属病院に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「附属病院に関する目標」欄の「計画の進行状況」と同一の記載内容です。

## II. 業務運営の改善及び効率化

### 1. 運営体制の改善に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「運営体制の改善に関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

### 2. 教育研究組織の見直しに関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「教育研究組織の見直しに関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

### 3. 教職員の人事の適正化に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「教職員の人事の適正化に関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

### 4. 事務等の効率化・合理化に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「事務等の効率化・合理化に関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

### Ⅲ. 財務内容の改善

#### 1. 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

#### 2. 経費の抑制に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「経費の抑制に関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

#### 3. 資産の運用管理の改善に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「資産の運用管理の改善に関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

### Ⅳ. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供

#### 1. 評価の充実に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「評価の充実に関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

#### 2. 情報公開等の推進に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「情報公開等の推進に関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

## V. その他の業務運営に関する重要事項

### 1. 施設設備の整備等に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「施設設備の整備等に関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

### 2. 安全管理に関する実施状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「安全管理に関する目標」欄の「判断理由（実施状況等）」と同一の記載内容です。

VI. 予算（人件費見積含む。）、収支計画及び資金計画

1. 予算

（単位：百万円）

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
収入			
運営費交付金	5,435	5,435	—
施設整備費補助金	31	31	—
施設整備資金貸付金償還時補助金	19	57	38
自己収入	11,547	12,738	1,191
授業料及び入学金及び検定料収入	623	525	△ 98
附属病院収入	10,876	12,105	1,229
雑収入	48	108	60
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	611	823	212
長期借入金収入	266	265	△ 1
計	17,909	19,349	1,440
支出			
業務費	15,868	16,145	277
教育研究経費	4,802	4,579	△ 223
診療経費	9,762	10,454	692
一般管理費	1,304	1,112	△ 192
施設整備費	297	296	△ 1
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	611	630	19
長期借入金償還金	1,133	1,171	38
計	17,909	18,242	333

2. 人件費

（単位：百万円）

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
人件費（承継職員分の退職手当は除く）	8,206	8,187	△ 19

## 3. 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
費用の部	17,211	19,237	2,026
經常費用	17,211	18,976	1,765
業務費	15,828	16,493	665
教育研究経費	948	1,358	410
診療経費	5,903	6,313	410
受託研究経費等	264	206	△ 58
役員人件費	123	103	△ 20
教員人件費	2,771	2,917	146
職員人件費	5,819	5,596	△ 223
一般管理費	410	316	△ 94
財務費用	303	311	8
減価償却費	670	1,856	1,186
臨時損失	—	261	261
収益の部	17,818	20,425	2,607
經常収益	17,818	20,291	2,473
運営費交付金	5,369	5,313	△ 56
授業料収益	537	532	△ 5
入学金収益	59	65	6
検定料収益	27	22	△ 5
附属病院収益	10,876	12,458	1,582
受託研究等収益	264	336	72
寄附金収益	325	285	△ 40
雑益	48	851	803
資産見返運営費交付金等戻入	—	1	1
資産見返寄附金戻入	—	8	8
資産見返物品受贈額戻入	313	420	107
臨時利益	—	134	134
純利益	607	1,188	581
総利益	607	1,188	581

#### 4. 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)
資金支出	18,721	20,521	1,800
業務活動による支出	16,239	14,531	△ 1,708
投資活動による支出	537	448	△ 89
財務活動による支出	1,133	1,642	509
翌年度への繰越金	812	3,900	3,088
資金収入	18,721	20,521	1,800
業務活動による収入	17,593	20,225	2,632
運営費交付金による収入	5,435	5,435	—
授業料及び入学金検定料による収入	623	525	△ 98
附属病院収入	10,876	12,105	1,229
受託研究等収入	264	357	93
補助金等収入	—	57	57
寄附金収入	347	1,278	931
預り研究費補助金等による収入	—	360	360
その他の収入	48	108	60
投資活動による収入	50	31	△ 19
施設費による収入	50	31	△ 19
財務活動による収入	266	265	△ 1
前年度よりの繰越金	812	—	△ 812

(注) 業務活動による支出には、預り研究費補助金等による支出(354百万円)を含む。

#### VII. 短期借入金の限度額

「該当なし」。

#### VIII. 重要財産を譲渡し、又は担保に供する計画

心臓血管撮影・治療システムに必要となる経費の長期借入れに伴い、本学病院の敷地について、担保に供した。

## Ⅷ. 剰余金の使途

「該当なし」

## Ⅹ. その他

### 1. 施設・設備に関する状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「施設・整備に関する計画」欄の「実績」と同一の記載内容です。

### 2. 人事に関する状況

「平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書」の「人事に関する計画」欄の「実績」と同一の記載内容です。

## Ⅺ. 関連会社及び関連公益法人等

### 1. 特定関連会社

特定関連会社名	代表者名
「該当なし」	「該当なし」

### 2. 関連会社

関連会社名	代表者名
「該当なし」	「該当なし」

### 3. 関連公益法人等

関連公益法人等名	代表者名
「該当なし」	「該当なし」